学校番号	３１２

平成31年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「現代の日本史」（山川出版）						
副教材等	改訂版　現代の日本史ノート（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとします。日本史Ａは、日本の歴史を世界史的視野の中でとらえ、世界の国々の歴史や文化と日本の歴史や文化との関係や違いを理解した上で、お互いを尊重する姿勢をもち、科学的な歴史認識を育てることを目指します。世界の中で日本がどのように貢献していくのかを主体的に考えながら、学習を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

１．日本前近代の歴史をふまえ、近現代史を事実に基づき把握し、歴史の構造とその変化を理解する。
２．歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
３．日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・近現代の日本の歴史について追究する態度を示しているか。 ・積極的に資料や図を見て多くの知識を深めようとしているか。	・東アジアや欧米を含めた広い視野に立って多面的に考察しながら近代日本の歴史の流れをとらえ、現代日本社会の姿を理解しようとしているか。	・近現代日本史に係わる諸資料を読み取り、効果的に活用しているか。 ・学習した成果を的確に表現できるか。	・近現代日本史に関する基本的な事柄を理解し、その知識を身につけているか。
評価方法	定期考査 提出物 出席状況 授業態度	定期考査 提出物 出席状況 授業態度	定期考査 提出物 出席状況 授業態度	定期考査 提出物 出席状況 授業態度 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		

一学期前半		序章　近代社会の動揺と近代への胎動 1　幕藩体制の動揺と政治改革 2　新しい経済構造と学問の芽生え 3　日本をとりまく世界の変容 第１章　開国と明治維新 1　アジアの激動と日本の開国 2　江戸幕府の滅亡 3　明治維新 4　富国強兵 5　明治初期の外交 6　殖産興業と文明開化	○		○	○	a：日本の近代国家の成立過程についてその時代の人物や遺跡・遺物などにふれ、関心を養う。 b：前近代と近代の基本的な違いを理解しつつ、日本の近代国家としての構造や発展過程の特徴を調べ、まとめ、発表できる。 c：歴史資料や歴史地図などを活用する力を身につけている。 d：日本の近代国家形成過程とその特徴を理解している。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
一学期後半		第２章　立憲国家の成立 1　自由民権運動 2　立憲制の成立 3　立憲政治の展開 4　日清・日露戦争 5　産業革命と社会の変容 6　明治の文化	○			○	a：世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b：世界史的視野を意識しながら、立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程について、課題を見いだし、多面的多角的に考察している。 c：立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d：立憲政の成立から日露戦争後までの近代国家の展開過程に関する基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

二学期前半		第３章　第一次世界大戦と日本 1　政党政治の展開 2　ワシントン体制 3　経済・社会の変容 4　市民文化		○	○	○	a:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に対する関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成から課題を見いだし、世界の動向と関連付けて多面的多角的に考察している。 c:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成に関する文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:第一次世界大戦が国内の経済・社会に及ぼした影響や政党政治の成立と市民文化の形成についての基本的な事柄を、世界の動向と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等
二学期後半		第４章　昭和の恐慌と満州事変 1　恐慌の時代 2　政党内閣期の内政と外交 3　軍部の台頭 第５章　第二次世界大戦と日本 1　日中戦争 2　重化学工業と統制経済 3　第二次世界大戦と太平洋戦争	○			○	a:十五年戦争について、国際社会の動向、国内の政治・経済の動向などと関連付けながら、関心と現代に通じる課題意識を高め、意欲的に追究している。 b:十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向などと関連付けながら課題を見いだし、アジア諸国との関係にも着目して多角的多面的に考察している。 c:十五年戦争について、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら文献、映像、統計などの諸資料を活用することを通して、歴史的事象を追究する方法を身に付けるとともに、追究し考察した結果を適切に表現している。 d:十五年戦争について基本的な事柄を、国際社会と国内の政治・経済の動向と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

三学期		第6章　占領下の日本 1　占領と改革 2　冷戦の開始と講和 第7章　経済繁栄と保守長期政権 1　55年体制 2　高度経済成長期の経済と社会 第8章　現代の世界と日本 1　冷戦の終結と日本 2　日本社会の動揺	○	○	○	○	a:日本の近代と現代の基本的違いに関心を持つとともに、父母から聴き取りをしたり、時事的なニュースに関心を持ったりするなど、現代社会への関心を養う。 b:戦前と戦後の基本的違いを認識するとともに、戦後の変遷を考え、まとめ、表現できる。 c:歴史資料や年表を活用する力を身につけている。新聞や雑誌の分析などで調べる力を身につける。 d:戦後の日本が戦前の国家の構造と全く違う民主的な国家体制になったことを理解する。	確認テスト 単元テスト ワークシート 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:　資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。